



令和2年度の史跡・名勝保全内容

	場所	内容	備考
既整備区間	小金井橋～関野橋	・枯死桜樹(若木)の植替え ●	KN58、S5、KS6、KS44 計4本
	新小金井橋～平右衛門橋	・欠損木等への補植 ●	6本
	陣屋橋～関野橋	樹木管理 (法面保護・被圧樹木)	
未整備区間	関野橋～梶野橋	樹木管理(萌芽更新防除)	
	小金井橋以西	樹木管理(法面保護)	

整備内容は、令和2年度第1回委員会視察結果に基づき作成した。

令和2年度第1回小金井市玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会 視察結果

実施日	令和2年7月10日（金）
時間	午前9：00から11：30まで
内容	既整備区間・・・「サクラの生育状況」・「伐採樹木の管理状況」・「被圧樹木の有無」 「上水遺構の保存状況」 未整備区間・・・「現状把握」・「サクラの植樹位置」
参加者	委員会（亀山委員、権名委員、伊東委員） 小金井市（生涯学習課、道路管理課、環境政策課） 東京都教育庁（地域教育支援部管理課） 東京都水道局（経理部管理課、境浄水場）
オブザーバー	小平市（スポーツ文化課） 市民団体
委員会 所見	<p>【関野橋～梶野橋間】（平成26～28年度整備済み）</p> <p><u>サクラの生育状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に良好に生長している。 ・生育の阻害となるので支柱等は撤去して構わない。 ・若木のヒコバエ処理は適宜行うこと。 ・KS30の上部の枝が枯れている。⇒要剪定。 <p><u>伐採樹木の管理状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・右岸は昨年度に雑木管理を進めたことで、史跡の遺構の環境が改善されている ・上水法面はまだ手が入っていない。⇒除去措置が必要である。 ・左岸は再度雑木の繁茂で状況は芳しくない。2～3年経過すれば、萌芽更新で大きく成長してしまう。⇒右岸同様に早急に措置を要する。 ・オニグルミやタラノキが林立している。⇒要伐採。 ・上水法面の崩落が進んでいる。史跡保護上、雑木伐採が必要である。 <p><u>被圧樹木の有無</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・左岸の雑木はすでにサクラの若木の高さを超えていて被圧している。 ・右岸のサクラの一部は被圧されていて、樹形に乱れがみられる。 <p><u>その他</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・雑木伐採の効果で、多くの既存木で樹形回復の兆しがみえてきた。 ・梶野橋上流は雑木の再繁茂で眺望がよくない。⇒適切な処理必要 ・関野橋下流は雑木の再繁茂で眺望がよくない。⇒適切な処理必要

【新小金井橋～関野橋間】（平成22～24年度整備済み）

サクラの生育状況

- ・サクラによる緑陰が順調に形成されてきている。
- ・比較的良好な生育を見せているが、個体によってばらつきがある。
- ・生育の阻害となるので支柱等は撤去して構わない。
- ・枯死伐採のS5は植え替え措置
- ・若木のサクラのヒコバエ処理は適宜行うこと。

伐採樹木の管理状況

- ・ツル性植物がサクラに絡む。⇒早急に除去
- ・タラノキ、ネザサ類多い。⇒要処理
- ・高木が依然残る。⇒危険木として伐採
- ・歩道の樹木伐採は適切に行われている。
- ・五日市街道側（緑地部）の外来植物や雑木⇒要伐採

被圧樹木の有無

- ・植樹したサクラの一部は被圧されていて、樹形に乱れがみられる。
- ・サクラ周辺の樹木は優先して伐採・剪定
- ・上水法面の崩落が進んでいる。史跡保護上、雑木伐採が必要である。

その他

- ・雑木伐採の効果で、多くの既存木で樹形回復の兆しがみえてきた。
- ・外来植物もみられるので、在来と外来の植物への草刈り方法の検討を要する。
- ・関野橋上流は雑木の再繁茂で眺望がよくない。⇒要管理。
- ・平右衛門橋から上・下流は雑木の再繁茂で眺望がよくない。⇒要管理。
- ・新小金井橋下流は雑木の再繁茂で眺望がよくない。⇒要管理。
- ・新小金井橋～平右衛門橋の既存木の欠損が進んでいる。⇒補植措置を検討。

【小金井橋～新小金井橋間】（平成29～令和元年度整備済み）

サクラの生育状況

- ・比較的良好な生育を見せているが、個体によってばらつきがある。
- ・植樹後のため生長が弱い。⇒入念な水やりが必要。
- ・KN58・KS6・KS44は枯死。⇒植え替えの措置

伐採樹木の管理状況

- ・小金井橋～陣屋橋は、伐採が進み名勝の景観として非常に良い状態である。
- ・景観維持のため、草刈り作業等で雑木の萌芽更新を抑える。
- ・陣屋橋～新小金井橋は、なぜ高木が多く残されているのか。史跡・名勝の保護上、早急な伐採が必要。
- ・新小金井橋付近のニセアカシアの防除は、歩道側は問題ない。枯死確認済み。

**委員会
所見**

・新小金井橋付近の水道用地内のニセアカシアは、広範囲に根が広がっていたのか、防除の効果が限定的である。左岸・右岸ともに防除を徹底する。

被圧樹木の有無

・若木に対する被圧は確認できないが、既存木に対する被圧樹木が多数ある。

その他

- ・親水性が向上した。
- ・水面が見えることで、小鳥が水飲みに上水内に降りやすい環境。
- ・雑木除去後、在来の野草が比較的良好に育つ。
- ・新小金井橋上流は雑木の再繁茂で眺望がよくない。要管理。
- ・小金井橋～陣屋橋の既存木の欠損が進んでいる。補植措置を検討。

【茜屋橋～小金井橋間】（未整備）

文化財の現況確認

- ・放置された雑木が多い。
- ・上水法面から生えている雑木が目立つ。
- ・史跡（上水遺構）の崩壊がみられる。
⇒名勝（サクラ並木）としての景観が大きく損なわれている。
⇒被圧によって既存のサクラの生育は危機的な状況にある。
⇒上水のり面の抉られ方が大きく、本来の遺構形状が想定しづらい。

今後の方向性「史跡・名勝の保護を最優先に考える」

- ・史跡保護上、法面上の雑木伐採は優先度が高い。
- ・新たなヤマザクラ並木の形成。⇒柵の内側への苗木の植樹
- ・苗木植樹地点から東西南北へ5m内の高木類は事前に伐採する。
- ・苗木の植樹は、両岸の同時整備がより効果的である。
- ・生育環境では既存木の生長は望めない状態である。樹形回復を促すために、新たに日照が充分当たる条件を整備する。⇒雑木の伐採
- ・苗木や既存木の生長の妨げになるため、対岸の雑木を含めて伐採。
- ・交通障害や民地被害を防ぐため、別途、高木伐採を進める。
- ・歩道のケヤキも伐採が必要である。

各管理担当への要望事項（まとめ）

東京都教育庁の管理

サクラ並木の維持管理強化について

- ・サクラ（若木）の生育阻害となる支柱等の撤去
- ・サクラのヒコバエの定期的な処理
- ・枯死したサクラ（若木）の植え替え措置
- ・サクラへの入念な水やり
- ・既存木の欠損が進む小金井橋～平右衛門橋への補植措置

東京都水道局の管理

玉川上水用地内の樹木等の管理について

- ・上水法面の崩落を防ぐため、法面自生の高木伐採
- ・サクラを被圧する樹木は優先して伐採・剪定。陣屋橋～新小金井橋区間は緊急度高い。
- ・景観維持のため、草刈り作業等で雑木の萌芽更新の抑制
- ・ニセアカシアの適切な防除
- ・親水性の面からも橋からの眺望を確保する
- ・上水法面上の植物の除草管理
- ・在来植物を増やし外来植物を抑制する草刈り方法の検討

小金井市の管理

- ・玉川上水右岸の歩道上の雑木の伐採
- ・玉川上水左岸（緑地部）のシュロ等の外来植物の除去



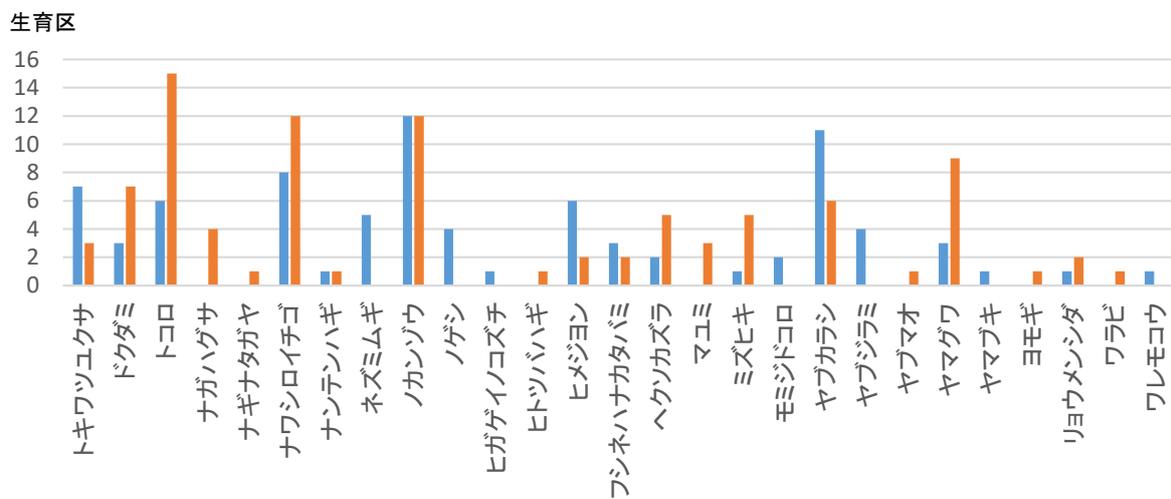
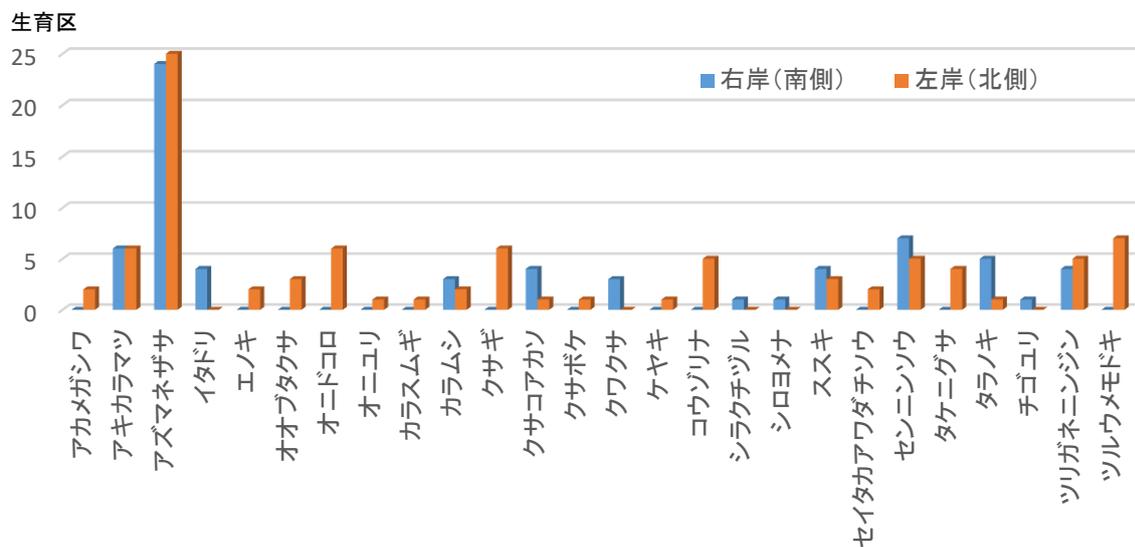
小金井橋から東方を望む



小金井橋下流部左岸



ブラウンランケ植生調査による草本植生 2020/06/03
 右岸(南側)全体30生育区・左岸(北側)全体30生育区



小金井桜林床(茜屋橋～平右衛門橋、右岸・左岸平地部)草本種確認(開花・結実等)写真

資料5

観察日時	雑木林(ヤマザクラ等)林床に多い草本	つる性草本	人里等に多い草本	外来草本
2020年 7月 5日	1フタリスズカ 2ノハラアザミ 3ナワシロイチゴ 4ギボウシ 5ノカンゾウ 6ヤマユリ 7ヤブマオ 8ヤブミョウガ 9ハンゲショウ 10ミズヒキ 11オニユリ 12アキカラマツ 13ヤブジラミ 14ハエドクソウ 14アキノタムラソウ 15チダケサシ	1ヤブカラシ 2トコロ 3シオデ 4ノブドウ 5カニクサ	1ドクダミ 2ツユクサ 3ススキ 3タケニグサ	1ヒメヒオウギズイ 2ハルジオン 3ポタンクサギ 4アメリカオニアザミ 5トキワツユクサ 6オッタチカタバミ 7ヤブカンゾウ 8ゼニアオイ

【雑木林林床に多い草本映像 1】



フタリスズカ(実)



ナワシロイチゴ(実)



ナワシロイチゴ群落



ノカンゾウ(開花)



ノカンゾウ群落



ヤブジラミ



チダケサシ



ヤマユリ



ヤブマオ



ギボウシ



ノハラアザミ

【雑木林林床に多い草本映像 2】



ヤブミヨウガ(開花)



ヤブミヨウガ群落



ハンゲショウ



ハエドクソウ



ミズヒキ



アキノタムラソウ



アキノタムラソウ群落



オニユリ



アキカラマツ

【つる性草本映像】



ヤブカラシ



ノブドウ



シオデ



オニドコロ



カニクサ



アオツツラフジ

【人里に多い草本等映像】



ドクダミ

【外来草本映像】



ススキ



タケニグサ



ツククサ



オッチチカタバミ
(北米)



アメリカオニアザミ
(ヨーロッパ)



トキワツククサ
(南アメリカ)



ハルジオン
(北アメリカ)



ゼニアオイ
(ヨーロッパ)



ヒメヒオウギズイセン(南アフリカ)



ヒメヒオウギズイセン群落



ボタンクサギ(中国南部等)



ヤブカンゾウ(中国)

開花・結実による草本識別調査 2020/8/3・4 (茜屋橋～平右衛門橋先)

資料6

左岸	【雑木林林床に多い草本】 アキカラマツ、アキノタムラソウ群落、ノアザミ群落、シロヨメナ、ツリガネニンジン、ハエドクソウ、キンミズヒキ、ノカンゾウ、ヤブマ	ツリガネニンジン、アキカラマツ、ホトギス、キンミズヒキ群落、ノアザミ、ハエドクソウ、ヤブマオ アキノタムラソウ群落、フレモコウ	ホトギス、アキカラマツ、ミズヒキ、ツルボ、ツリガネニンジン	ノカンゾウ、アキカラマツ、ヤブマオ、フレモコウ、オカトラノオ、ツリガネニンジン、シロヨメナ、アキノタムラソウ、ハエドクソウ、ツルボ群落、ツリガネニンジン群落	ツリガネニンジン、アキカラマツ、シロヨメナ、フレモコウ、ノカンゾウ
	【つる性草本】 オニドコロ、ヘクソカズラ、ノブドウ、ヒヨドリジョウゴ、ヤブカラシ、センニンソウ	オニドコロ ヤブカラシ ヘクソカズラ	カラスウリ、オニドコロ、ヤブカラシ、ヘクソカズラ、カニクサ、センニンソウ	ヤブカラシ、センニンソウ、ヘクソカズラ、オニドコロ、	カラスウリ、ヘクソカズラ、オニドコロ、ノブドウ、センニンソウ、
	【人里等に多い草本】 ツユクサ、タケニグサ	ツユクサ	ツユクサ	ツユクサ、エノコログサ	タケニグサ、ススキ
	【外来草本】 オシロイバナ、ヨウシュヤマゴボウ	オシロイバナ		マツヨイグサ、ヒメヒオウギズイセン、	ヒメジオン、マツヨイグサ、アメリカオニアザミ
<p>橋 茜屋 (1) 橋 貫井 (2) 橋 小金井 (3) 橋 新小金井 (4) 橋 平右衛門 (5)</p> <p>未整備区間 約1000m 2018年度～2019年度伐採 550m 2010～2012年度伐採 640m 2016年度平右衛門橋以東再伐採</p>					
右岸	【雑木林林床に多い草本】採 アキカラマツ、ノカンゾウ、アキノタムラソウ、ヤブマオ、ミズヒキ、ハエドクソウ、キツネノカミソリ、ヤブミョウガ	ミズヒキ、アキカラマツ、ヤブマオ、ヤブミョウガ、ノアザミ	シロヨメナ、オミナエシ、ヤブマオ、キツネノカミソリ	ツリガネニンジン、ミズヒキ、ヤブミョウガ群落、ヒトツバハギ、アキカラマツ、ウツボグサ、ヤブマオ	アキカラマツ、フレモコウ、ウツボグサ、ヤブマオ、シロヨメナ、ノカンゾウ、ミズヒキ、ツリガネニンジン
	【つる性草本】 オニドコロ、ヤマノイモ、ヘクソカズラ、カラスウリ、ヤブカラシ	オニドコロ、ヘクソカズラ、ヤブカラシ、ヤマノイモ、	ノブドウ、ヤブカラシ	ヤブカラシ、ヒヨドリジョウゴ、オニドコロ、カラスウリ、センニンソウ、ノブドウ、アカネ	ヘクソカズラ、センニンソウ、オニドコロ、ヤブカラシ、ノブドウ
	【人里等に多い草本】 ツユクサ、	タケニグサ、ツユクサ	ツユクサ	ツユクサ群落、アワ、ジュズダマ、セリ、ススキ	ススキ、タケニグサ
	【外来草本】 オオバタクサ	ブルーセージ、ヨウシュヤマゴボウ、アメリカオニアザミ、	ヨウシュヤマゴボウオシロイバナ群落	オシロイバナ、ヨウシュヤマゴボウ、ゼニアオイ、ヒメヒオウギズイセン、アップルミント、	ヨウシュヤマゴボウ、オシロイバナ、ヒメジオン、アメリカオニアザミ、ボタンクサギ、ゼニアオイ、マツヨイグサ